

がまこり 議会 だより

5月市議会臨時会・6月市議会定例会

5月臨時会／議決された主な議案……………	2～ 3
6月定例会／一般質問…ここが論点……………	4～ 10
6月定例会／議決された主な議案……………	10～ 13
委員会通信……………	13
9月定例会予定等……………	14

NO. 129
2025.8



正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会
議案

5月市議会臨時会は、5月9日、12日の2日間の会期で開きました。
今議会では、大場康議議長、藤田裕喜副議長を選出し、各委員会の構成などを決めました。また、議案5件を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。その主な内容をお知らせします。

専決処分の承認

●市税条例の一部改正 (第37号議案)

地方税法の改正に伴い、蒲郡市市税条例の一部を緊急に改正する必要が生じたため、専決処分により改正しました。

法人市民税は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う引用規定の整理を行います。固定資産税は、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに減額措置について改正を行い、固定資産税及び都市計画税で地方税法の改正に伴う引用規定の整理を行います。軽自動車税は、種別割の税率区分に原動機付自転車のうち、二輪のもので総排気量が0・125リットル以下かつ最高出力は4・0キロワット以下のものを加え、その税率を年額2000円にします。併せて、種別割の減免を受ける際に提出する減免申請書の記載事項に係る規定の整理を行います。

その他の議案

●監査委員の選任 (第41号議案)

議会議長の松本昌成委員の辞任に伴い、後任委員として大須賀林議員を選任することに同意しました。

■全会一致で承認・可決・同意した議案 (○内の数字は議案番号)

- ③7 専決処分の承認（市税条例の一部改正）
- ③8 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正
- ③9 市民病院特定認定再生医療等委員会条例の一部改正
- ④0 令和7年度一般会計補正予算（第1号）
- ④1 監査委員の選任

■5月臨時会の日程

9日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明など〕 議会運営委員会 経済委員会 文教委員会
12日	本会議〔質疑、討論、採決、正副議長の選挙、委員会委員の選任など〕 全員協議会 総務委員会 経済委員会 文教委員会 議会運営委員会

■5月臨時会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第1号)	物価高騰対応重点支援事業費 定額減税不足額給付金給付事業費 3億794万3千円	3億6,920万円	498億2,720万円
	名鉄西尾・蒲郡線支援事業費 名鉄西尾・蒲郡線対策協議会負担金 400万円		
	放課後児童健全育成事業費 児童クラブ施設維持管理経費 1,241万2千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立保育園等給食費無償化補助金 648万4千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 農業経営者物価高騰対策支援金 3,000万円		
	物価高騰対応重点支援事業費 漁業経営者物価高騰対策支援金 400万円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立幼稚園給食費無償化補助金 379万7千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 市外学校等学校給食費支援事業費 56万4千円		

議長に大場康議員

副議長に藤田裕喜議員を選出

5月12日の議案審議の終了後、青山義明議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われ、3名の議員の所信表明の後、投票の結果、大場康議員が第72代議長に当選しました。

続いて、鈴木将浩副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行い、2名の議員の所信表明の後、投票の結果、

藤田裕喜議員が第74代副議長に当選しました。

次に、常任委員会及び議会運営委員会の各委員の選任を行い、それぞれ互選により、正副委員長を決定しました。

その他、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員及び東三河広域連合議会議員の選挙を行いました。各委員会及び

各議会議員の構成は左下表のとおりです。

各委員会の内容は

●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、各部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願等の審査をします。各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○総務委員会

行政の総合的な企画・調整、ウェルビーイング、財政、財産、消防、監査委員、

選挙管理委員会に関することなど。他の委員会に属さないことは総務委員会を担当します。

○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、ボートレース事業など。

○文教委員会

市民生活、健康、保育、福祉、市民病院、教育など。

●議会運営委員会

円滑な議会運営を行うために置かれ、会派間の意見

調整と、会議を能率的に進行させる役割を担う委員会です。他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、当委員会は議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。



就任 あいさつ



議長 大場康議



副議長 藤田裕喜

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

5月12日に開かれました市議会臨時会におきまして、多くの議員諸氏のご賛同を賜り議長に就任いたしました。議長としてその責務の重さに身の引き締まる思いでございます。職務の遂行に全力を傾けるとともに公正かつ円滑な議会の運営にいつそう努力をしてまいります。

最近の世界情勢は、混沌としてまいりました。世界各地で起こっている紛争や、関税問題など、様々な状況の変化が、我々の日常生活に影響を落としています。当市におきましては、経済問題は勿論でございますが、少子化問題、教育や福祉など多くの課題を抱えています。また、日本各地で起こっている災害などから、常に危機感を持ち災害に対する備えを十分しておく必要があると考えています。このような様々な課題を解決していくために、限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に配分し、市民の皆様のを望を市政に反映させるために市議会の果たす役割は非常に重要であると考えています。

市議会といたしましては、議決機関として皆さまの意見を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることを十分認識し議会力アップに努めていく考えであります。私たちの蒲郡をいっそう住みやすいまちにするため藤田裕喜副議長と力を合わせて頑張りますので皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

区 分		氏 名 (◎委員長 ○副委員長)			
常任委員会	総務委員会	◎鈴木将浩 牧野泰広	○芦刈純奈 鈴木貴晶	来本健作 八田寿人	大場康議
	経済委員会	◎伊藤享佑 松本昌成	○新実祥悟 尾崎広道	千賀充能	藤田裕喜
	文教委員会	◎青山義明 大須賀林	○中野香余 日恵野佳代	鈴木基夫 竹内滋泰	太田哲也
議会運営委員会		◎鈴木基夫 鈴木将浩	○牧野泰広 青山義明	来本健作 伊藤享佑	千賀充能
蒲郡市幸田町衛生組合議会		大場康議 鈴木貴晶	青山義明 松本昌成	来本健作 八田寿人	千賀充能
東三河広域連合議会		千賀充能	大須賀林	日恵野佳代	

一般質問…ここが論点



詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧になれます。

6月定例会

6月市議会定例会中、17人の議員が一般質問を行いました。その中から要約を掲載します。詳しい内容は市立図書館等で会議録をご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

日程	議員名	主 な 質 問 の 項 目 ※下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています。
6月11日(水)	太田 哲也	<u>自治会（総代区・常会）</u>
	鈴木 将浩	<u>少子化の現状と取組</u> 婚活支援 <u>子育て支援策</u> <u>こども・若者の居場所づくり</u>
	鈴木 基夫	<u>イネープリングシティの実現に向けて</u> 今後のイネープリングシティの実現に向けて <u>形原4区のしあわせ。健康“深”発見ぶらりんウォーク</u>
	八田 寿人	<u>蒲郡市ホームページ</u>
	千賀 充能	<u>国道247号4車線化と周辺道路</u> <u>鹿島町宅地開発</u> <u>名鉄電車継続による三河鹿島駅</u>
	松本 昌成	<u>保育ソーシャルワーク（地域連携推進員）の導入</u> <u>養護老人ホームの現状及び課題</u> <u>地域公共交通の課題と今後の展望</u>
6月12日(木)	鈴木 貴晶	<u>市公式LINEの活用</u> <u>道路及び交通行政</u> 消防行政
	尾崎 広道	<u>ボートレース蒲郡駐車場内に存する鉄骨平屋建て建物</u> <u>圃場整備（土地改良事業）により整備された農地</u> <u>かたはら児童館</u>
	日恵野 佳代	<u>物価高騰から市民の暮らしを守るために</u> 障がいのある子どもの放課後の居場所と支援の充実を <u>安心して介護を受けられるまちへ</u> 市職員による市民への虚偽説明やハラスメントへの対策
	新実 祥悟	<u>犯罪被害者等支援条例の制定</u>
	伊藤 享佑	<u>保育士確保</u> <u>地域防災体制の強化</u> <u>西浦中学校の跡地利用</u>
6月13日(金)	青山 義明	<u>国道473号</u> <u>蒲郡北地区個別計画</u>
	中野 香余	<u>交通安全への対策</u> <u>高齢者の交通手段</u>
	大須賀 林	<u>蒲郡の山歩きと健康</u>
	牧野 泰広	<u>交通弱者の移動</u> <u>地区個別計画</u> 本市におけるカスタマーハラスメントの現状と対策
	芦刈 純奈	<u>市内の産婦人科（分娩できる医療機関）が蒲郡市民病院のみになること</u> 出産・子育て支援の相談体制
	竹内 滋泰	未来の行政を担う人材育成の重要性和柔軟で効率的な行政運営を目指した組織改革の必要性、適切な人材配置及び組織運営 <u>モーターボート競走事業の使命と持続可能な財政運営</u> <u>住民税減税の可能性とその実現に向けた取組</u>



太田 哲也
公明党市議員

自治会（総代区・常会）について

自治会加入促進に対するこれまでの取組を伺う。

地域では新築アパート等への加入依頼をしているほか、市では転入届の際に窓口で加入促進チラシを配付している。令和5年度には日本語、英語、タガログ語で加入促進チラシを作成し、地域で活用してもらっている。

加入の際にインセンティブを付けることへの、市の考えを伺う。

自治会加入は任意であり、活動を知ってもらい地域コミュニティの必要性やメリット等を理解してもらえよう、総代連合会と連携し取り組みたい。

地域会議のオンライン化や集会施設のWi-Fi整備について

市の考えを伺う。

6年4月に改正した蒲郡市地域集会施設建設等事業費補助金制度では、Wi-Fi整備も補助対象に追加している。オンライン化は地域の実情に応じ支援体制を整えたい。

電子回覧板の導入を考えてはどうか。

回覧方法に興味がある地域には随時、相談対応を行うなど検討していきたい。

デジタル化推進をした地域へ、金銭的補助が必要ではないか。



自治会加入促進チラシ・英語版



鈴木将浩
自民党市議団・無所属の会

少子化対策について

問 各種指標を基に課題を明確化し、全庁的に取り組む地域アプローチによる少子化対策を実施してはどうか。

答 地域アプローチや地域評価指標は、大変有効な検討分析であるため、市の特性を加味して検討を進めたい。

子育て支援策について

問 多子世帯支援のため、乳幼児の第2子以降の保育料・給食費を無償化してはどうか。

答 県の助成事業に合わせて第2子の保育料無償化を行う方向で準備している。給食費は支援策の一つとして研究・検討を進める。

問 保育士に市独自で資格手当や延長保育時の加算等を行い、処遇

改善を図ってはどうか。
答 加算は考えておらず、まずは採用人数を増やし、働きやすい環境整備に努める。

問 保育士負担軽減のため、保育補助・支援員を導入してはどうか。

答 保育業務改善プロジェクトでの保育士の意見を踏まえ、効果的な導入を検討したい。

こども・若者の居場所づくりについて

問 こども・若者の居場所づくりの必要性がうたわれる中、今後どのように取り組むか。

答 若者支援協働モデル事業のアンケートなどの結果を今後の検討につなげる。



鈴木基夫
自由クラブ

イネープリングシティの実現について

問 トイレの進捗状況について伺う。

答 ウェルビーイングなトイレ環境という観点から、市役所本庁舎2階トイレを対象に検討を進めている。現在、空間としてのデザインや、匂い・音等の五感で幸せを感じるウェルビーイングなトイレの実現、心身を整えるトイレの実現を目指して仕様を固めている。検証後は、将来的に新たな公共トイレのモデルとして進めていきたい。

問 概要について伺う。
答 住民と協働でイネープリングシティを地域で形成する取組で、昨年度、形原4区総代より声掛けをしてもら

形原4区のしあわせ、深い見ふらりんウォーク

い実施に至った。6月15日にキックオフとなり、当日は、横浜市立大学の西井正造助教からの講話や形原4区のまちを歩くイネープリングシティウォーク、まちづくりに向けてのワークを実施する。今後は月に1回程度、ワークシヨップ等を重ね、ファクターの介入をしていく予定である。

問 期待する効果について伺う。
答 地域の特性やコミュニティが生かされ、まちを歩く人や交流が増え、これまで以上にまちへの愛着が増し、地域のつながりもより強いものとなるのではないかと考えている。



八田寿人
自民党市議団・無所属の会

蒲郡市ホームページについて

問 「申請書等様式ダウンロード」ページに掲載のない申請書があったり、古い様式の申請書があったが、運用管理について伺う。

答 担当課ごとの各種申請書等の中で、インターネット配布可能なものをこのページに集約し、市民向けと事業者・市民団体向けに分類し、公開している。トップページの運用管理はデジタル行政推進課だが、掲載の可否や分類先の掲載内容は、申請書等の所管課で運用管理を行っている。

問 「申請書等様式ダウンロード」ページに掲載ファイルがPDFしかなく、ワードやエクセル等のファイルがないページがあったが、掲載ルールはあるか。

答 これまで作成ルールはなく、各課の判断で掲載している。運用を整理し、作成ルールをデジタル行政推進課主導で進めていく。誰もが見やすいページを作ることを職員が実践できるように引き続き研修を行っていく。



問 「電子申請可能な手続きのご案内」ページと「申請書等様式ダウンロード」ページとで、分類項目数や表現が一致しないがなぜか。
答 掲載様式や手続数に差がある。現時点の分類項目は最適と考えるが、利用者目線で改めて当該ページの最適な掲載方法を関係各課と協議していく。



千賀充能
自民党市議団
・無所属の会

国道247号4車線化
と周辺道路について

問 国道247号鹿島バイパス沿線の商業施設開発が進んでいるため、バイパスの4車線化や鹿島町宮ノ要道路の整備について、県や市はどのように考えているのか。

答 現在県に対して、鹿島バイパス4車線化の早期整備を要望している。また、市道宮ノ要浅井新田1号線は少しでも早く事業を進めていきたい。

鹿島町宅地開発について

問 鹿島町の開発などによる土地活用をどのように進めるか伺う。

答 長田、浜田、鬼越地区について、開発を行う場合の課題整理を事前に行い、事業者等による土地利用が図られるような施策研究を進めたい。土地所有者等からの相談にも答えられるよう準備したい。



国道247号鹿島バイパス

名鉄電車継続による
三河鹿島駅について

問 令和9年度より、みなし上下分離方式で15年の延長をする方針が決まったが、沿線の駅周辺の活性化など、今後の展開を伺う。

答 安全な列車運行のため、老朽化した施設更新を優先したうえで、キャッシュレス化や停車場の改良等を名古屋鉄道と協議し進めたい。駅周辺の整備や宅地開発など長期的な計画をたて、地域の活性化を図ることが大切である。



松本昌成
公明党市議団

保育ソーシャルワーク
(地域連携推進員)の導入

問 児童虐待等の防止策として、本市においても地域連携推進員を配置し、より専門的な支援を行うことについて、市の考えを伺う。

答 本市では、地域連携推進員と同様な役割を果たす専門性を有する保育士や保健師・家庭支援員を配置した、こども家庭センターを令和6年4月に設置した。センターが中心となり、関係機関で構成された協議会において、要支援児童等の支援体制を構築している。引き続き連携を図り、個々の家庭に応じた適切な支援に取り組んでいく。

地域公共交通の課題と
今後の展望について

問 鉄道や路線バス

接続、統一した予約システムやダイヤ調整を導入する計画はあるか。

答 鉄道やバスなどの公共交通を一つの移動手段と捉え、経路検索や予約、決済が一体化されたサービスであるMaasに関して現在、東三河8市町村による東三河版Maasを構築し、運用を進めている。

問 蒲郡市地域公共交通計画の見直しのポイントはどこか。

答 今後は、鉄道、基幹・支線バスの役割分担を踏まえつつ、利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークに見直していくことがポイントになる。



鈴木貴晶
自由クラブ

市公式LINEの
活用について

問 市公式LINEに登録している友だちの状況を分析すると様々な事が分かる。友だち登録者数はどれぐらいいるのか。

答 6月1日現在での当市の友だち登録者数は、3万3千644ユーザで人口比43.6%。県内の友だち登録者数では2月時点で9番目であり、東三河では1番多い。この結果からも市公式LINEは当市の強力な情報発信ツールの1つである。

二次交通の確保
について

問 コロナ禍が明け蒲郡の夜の街も賑わいを取り戻してきた。しかしながら肝心の足であるタクシーが捕まらなといった声を頻繁に

耳にする。近隣では豊橋、豊川市がこれらの運転免許取得にあたって補助金を出している。本市における普通二種免許等取得支援補助金についての考えを伺う。

答 特に高齢者や公共交通の空白地域において、二次交通としてのタクシーの重要性は高いものと認識している。今後のタクシー運行の維持・確保に向けて、普通二種免許の取得支援など人材の確保に資する施策の必要性については、まずは実態把握を進め、先進事例等も参考にしながら、持続可能な二次交通の維持・確保対策の中で検討していく。





尾崎広道
自由クラブ

ボートレース蒲郡駐車場内に
存する鉄骨平屋建て建物

問 熱中症対策で改修する予定があるか。

答 この建物には冷房設備を設置しており、利用している警備員にも問題ないと確認している。そのため、現在、この建物の改修は計画していない。

問 職員の事務所と警備員の休憩室との待遇の違いは、法に違反しないか。

答 令和7年6月1日施行の改正労働安全衛生規則の中で、熱中症対策が義務づけられたが、利用者の温熱環境は、本場事務室と大きく相違しないため、問題は無いと判断した。

今後、委託先事業者から、改善の要望等があった場合は、必要に応じて、対策を検討していく。

かたはら児童館について

問 かたはら児童館では、「涼みん」対象施設として、どのスペースを開放し、またどこで食事を取るかを伺う。

答 開放スペースは、和室奥の庭に面した縁側を案内し、そこで飲料を取ってもらうことができる。また食事は、館内中央のホールや、事務所の一角を利用してもらっている。

問 スペースが狭いため、移設や増築の計画はあるか。

答 現在、児童館の移転や増床の計画はなく、引き続き適切に管理していく。



かたはら児童館



日恵野佳代
無会派・
日本共産党

物価高騰から市民の暮らしを守るために

問 米の生産量は令和4年、5年ともに需要を下回り備蓄米もほぼ枯渇している。全国では、お米券の配布の動きが広がっている。市もお米券を世帯人数に応じ配布してはどうか。

答 国の交付金を活用し、お米券を配布する自治体があることは承知している。本市では、これまでに国の交付金を活用し水道基本料金の無償化等を実施してきた。今後も効果的な支援策を検討したい。

安心して介護を受けられるまちへ

問 ケアマネージャーが不足し、他市町から応援にきてもらっている。このままでは介護の利用が困難である。ケアマネージャーの平均年齢や担当人数などの把握はしているのか。また研修費の全額補助など確保策が必要ではないか。

答 平均年齢等の詳細は把握していない。東三河広域連合による研修費の一部補助など取組を継続していく。

問 物価高騰や報酬引下げで訪問介護事業所の経営が厳しくなっている。職員も集まらずヘルパーの平均年齢が70歳前後のところもあると聞く。市や東三河広域連合による直接支援を求めているどうか。

答 市での独自支援は考えていない。国への要望を東三河広域連合が行っている。



新実祥悟
市政クラブ

犯罪被害者等支援条例の制定について

問 他市町の条例制定状況について伺う。

答 令和7年4月1日時点で、県内では16市町で制定されているが、東三河で制定されている自治体はない。

問 他市町の条例の内容及び具体的な施策について伺う。

答 他市町の条例は、目的、定義、基本理念、市・市民・事業者の責務など、統一的な規定に加え、相談及び情報の提供、経済的負担の軽減、日常生活の支援、居住の安定、心身に受けた被害の回復、広報及び啓発、人材育成など、様々な支援に関する根拠規定がある。

行政サービスの支援内容は自治体ごとに異なっているが、支援金のほかに、公営住宅

の優先入居や一時的な提供、精神医療の支援、ホームヘルプ、配食などの取組がある。

問 本市における犯罪被害者等支援条例制定の可能性や課題についての見解を伺う。

答 県内では、条例の有無に関わらず、全ての市町村に総合的対応窓口が設置されており、相談体制を整えて、福祉、医療など、既存のサービスを漏れなく提供するため、関係部署と連携し、ワンストップで対応していくことが重要だと考えている。本市では、これら相談体制の構築に加え、条例制定に向けて、引き続き検討を進める。





伊藤 享佑
市政クラブ

保育士確保について

問 保育補助者の導入に際し補助が可能となる、保育補助者雇上強化事業を導入していく考えはあるか伺う。

答 現時点で実施する考えはないが、私立保育園等からの期待が高まっていることは承知している。様々な視点から検討したい。

問 資格取得支援制度を活用した人材育成の導入について伺う。

答 慢性的な人材不足を課題として抱える中で、このような制度を活用して人材確保に努めるのは大変意義のあることだが、まずは、保育支援者や保育補助者の活用の検討から始めていきたい。

地域防災体制の強化について



問 今後の大規模災害に対し、災害ケースマネジメントの観点も踏まえ多種多様な関係機関の受入れが必要となる中で、受援計画の策定が必要ではないか。

答 的確な災害復旧支援を進めるため、計画の策定を検討していく。

西浦中学校の跡地利用について

問 京都大学と地震予知の共同検証に関する契約を締結した。その研究所として、既存校舎の活用は可能か。

答 許可権者である県には一般論として相談は行っているが、最終的には個々判断となり、現時点で答えられない。



青山 義明
自民党市議会
・無所属の会

国道473号について

問 過去のルート設定について伺う。

答 これまで、概略ルート案の検討がされたが、事業主体が愛知県のため、現在は県に対してルート検討を含めた要望を行っている。

蒲郡北地区個別計画について

問 蒲郡西部小学校や蒲郡北部小学校、西浦地区の学校について、閉校式の予定を伺う。

答 西部小及び北部小の閉校式は、蒲郡北地区統合小学校開校準備委員会の中で「閉校式のような式典をやってほしい」と意見があり、今後の検討を考えている。また、西浦地区は、西浦小中学校のコミュニケーション部会が開校準備委員会の中で準備を進

めている。

問 西部小の児童が、北部小まで通う通学路の安全対策を伺う。

答 本年度実施のPTA総会の際に通学路の説明を行い、意見や要望を集約し、それらを精査し、対策を検討し、交通安全プログラム推進室と連携した安全対策を考えている。

問 公民館の統合について、地元住民への説明と理解を伺う。

答 北部公民館と西部公民館の統合については地域住民の方々に周知したが、統合の時期は、未定である。方針がまとまったら、地域の方々に向けた説明会の実施を考えている。



中野 香余
自民党市議会
・無所属の会

交通安全への対策について

問 国道23号蒲郡バイパスが開通して渋滞は緩和されたが、交通量が減りスピードを出す車は多くなった。市の交通安全啓発等の取組状況を伺う。

答 小学校や保育園で行う交通安全教室のほか、自転車利用教室、バス利用教室を実施している。高齢ドライバー向けの体験型講習会、幼児交通安全クラブ講習会、出前講座などを開催し継続的に啓発活動を行っている。

高齢者の交通手段について

問 運転免許を自主返納した場合に市から受けられる制度を伺う。

答 免許証を自主返納した70歳以上の市民に、交通防犯課窓口で「申

請による運転免許の取消通知書」を提示すると、交通系ICカード2000円分、コミュニケーションバス共通回数券12枚綴り2冊、三河木綿グッズのうち1点を贈呈している。

問 電動アシスト自転車の補助金申請には多くの書類が必要であり、受付もすぐに終了してしまう。申請方法や補助件数の見直しについて伺う。

答 分かりやすく効率的な申請になるよう、見直しの必要性を含めて検討したい。適正な補助件数については、毎年実績を踏まえ、今後の需要を見込みながら考えていきたい。





大須賀林
自民党市議団
・無所属の会

蒲郡の山歩きと健康について

問 健康面から山林を歩くことの効果はあるのか。

答 里山を歩くことや、森の中でハイキングを楽しむことは、森林の空気を全身に浴びることができ、ストレス解消やリラクゼーション効果があると言われている。また、森林が健康に良い影響を与えることは、多くの研究や科学的根拠でも示されている。

ストレス社会の現代日本において、森林を歩くことは、森林の持つ、リラクゼーション効果や免疫力の活性化、歩くことによる運動効果、そして、舗装されていない土の上を歩くことで五感を刺激するなど、健康面においても、様々な効果があると考えている。



問 砥神山等ハイキングの際、犬口グラウンドを駐車場として使用してはどうか。またトイレはあるか。

答 犬口グラウンドには、未舗装の駐車場が16台程度ある。砥神山等ハイキングの際の駐車場としての使用については、グラウンドの利用に支障のない範囲であれば問題はない。ただし、ハイキングイベント等多くの参加者が駐車場を利用する場合は、指定管理者に施設の予約状況を確認調整の上で、利用してもらいたい。

なお、トイレはグラウンドの入口横に設置している。



牧野泰広
自由クラブ

高齢者の移動手段について

問 蒲郡自動車学校で認知機能検査をやっていたとのことだが、なぜやめたのか。危険回避の観点から再開すべきでは。

答 県に確認した所、県内統一して自動車教習所の認知機能検査をやめ、教習所の負担を軽減する取組を行ったとのことである。現在は県の方針により、蒲郡自動車学校での認知機能検査は行っていないが、市民の利便性の向上が期待できるのであれば、検査再開について県と相談していきたいと考えている。

地区個別計画について

問 生まれてくる子どもが年間450人程度になっている中で、現

状の7中学校を維持するのは困難と考える。配置の見直しを早急に考えるべきではないか。

答 過去に資料として用いた人口推計よりも早いペースで、年少人口が減ってきていると認識している。来年度公共施設マネジメント実施計画の見直しを予定している。実施計画には、人口推計やコスト等を踏まえ、施設保有量の削減などの目標を掲げており、検証することになる。地区個別計画の見直しについては、公共施設マネジメント実施計画の見直しの内容を踏まえ、あわせて検討していきたいと考えている。



芦刈純奈
自民党市議団
・無所属の会

市内の分娩できる医療機関が市民病院のみになること

問 現在の蒲郡市民病院で対応できる分娩件数と、医師や助産師の人数を伺う。

答 分娩件数について、令和7年4月から6月までの当院の分娩予定件数は46件であり、前年同時期と比較して、12件増加したが、現状、お産受け入れの制限はない。医師については、7年6月現在、常勤3名、大学から派遣の非常勤医師2名で、計5名体制。助産師は、常勤・再任用職員が11名、会計年度任用職員が3名の計14名体制である。

問 今後の体制強化のための医師や助産師の増員と確保について取組状況と見込みを伺う。

答 産婦人科医師は、名古屋市立大学医局や民間医師派遣会社等を

活用し、確保に努めている。助産師は、新卒採用試験により1名と、現役看護師の助産師免許取得により、来年4月に2名が増員する予定である。

問 新たな分娩方法の導入の見込みを伺う。

答 今後の無痛や和痛の分娩方法の可能性を想定して、新たな分娩台を導入する補正予算を本議会で提出している。無痛・和痛分娩の実現には、専門的な研修を受けた麻酔科医の確保や、助産師や看護師の無痛・和痛分娩の専門知識の取得等も必要となる。7年度中の運用開始を目指し、体制を整えたい。



蒲郡市民病院



竹内 滋泰
市政クラブ

モーターボート競走 事業の使命と財政運営

問 持続可能な財政運営を目指して、ボート競走事業の収益の予期せぬ変動に柔軟に対応できる仕組みを導入する必要があります。繰出金を利益状況に応じて、適切に処分できるよう新たに「蒲郡市モーターボート競走事業費・ひと・いえ・まちづくり基金」（仮称）を創設すべきだと提案するが、市の考えを伺う。

答 市民を支えるための経常的な財源は、市税収入を根幹とする各年度の歳入で賄い、市全体の事業バランスや優先順位等を考慮して歳出予算に計上したい。また、新基金の創設は現時点で考えているものではないが、関係部署とともに研究していきたい。

住民税減税の可能性と その実現に向けた取組

問 物価高の状況において市民の生活を守るのは市の責務である。住民の経済的負担の軽減、生活の質の向上、地域経済の活性化促進等のために、独自に市民税の一律10%減税を実施することについて市の考えを伺う。

答 令和7年度予算は市の貯金である財政調整基金を26億円取り崩し、加えて財源不足を補うためモーターボート競走事業収入10億円を諸収入として見込んでいる。さらに市税減少分を賄うことは難しく実施は考えていない。



ボートレース蒲郡

国民健康保険税条例の一部改正などを議決

6月市議会定例会は、6月11日から23日までの13日間の会期で開き、議案14件、意見書案7件を審議しました。

国民健康保険税条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

6月定例会 議案

条例の改正

●市税条例の一部改正 (第42号議案)

地方税法の改正に伴い、個人市民税は、所得割の納税義務者と生計を一にする19歳以上23歳未満の者のうち、控除対象扶養親族の対象とならない前年の合計所得金額が58万円を超え、123万円以下のものを有する所得割の納税義務者について、前年の総所得金額等から、最高45万円を控除する「特定親族特別控除」が創設されます。

公益信託に関する法律の

施行に伴い、寄附金税額控除に係る規定の整理を行います。

市たばこ税は、加熱式たばこが、紙巻たばこよりも税負担水準が低く課税の適正化の観点から税負担差を解消するため、当分の間、加熱式たばこの重量に応じ換算した紙巻きたばこの本数とする課税方式に見直されます。時期については、激変緩和等の観点から、令和8年4月1日から段階的にを行います。

●総務委員会での主な質疑問 個人市民税の特定親族特別控除について、市内の対象者の数と、税収への影

6月定例会の日程

- 11日 本会議
〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
- 12日 本会議〔一般質問〕
- 13日 本会議〔一般質問〕
議会運営委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 経済委員会
- 18日 文教委員会
- 23日 本会議
〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

響はどれほどか。
答 7年度の課税状況などから試算すると、対象となり得る年代で、合計所得金額が58万円を超え、123万円以下の人数は約170名、仮に扶養された場合の市民税の影響額は、約320万円と見込まれます。

大学生年代の子等の合計所得金額	控除額
58万円以下	45万円
58万円超～95万円以下	45万円
95万円超～100万円以下	41万円
100万円超～105万円以下	31万円
105万円超～110万円以下	21万円
110万円超～115万円以下	11万円
115万円超～120万円以下	6万円
120万円超～123万円以下	3万円
123万円超	—

●国民健康保険税条例の一部改正 (第43号議案)

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の医療分にかかる課税限度額を65万円から66万円に引き上

げ、後期高齢者支援分にかかる課税限度額を24万円から26万円に引き上げます。また、被保険者均等割額及び世帯別平等割額の軽減判定所得の算定において、被保険者数に乘すべき金額を、5割軽減の対象世帯については29万5000円から30万5000円に、2割軽減の対象世帯については54万5000円から56万円に引き上げます。

●文教委員会での主な質疑問

問 今回の改正により財政的にはどうなるのか。
答 限度額の引き上げにより、国民健康保険税の調定額が約544万円増、軽減判定基準の見直しにより約180万円の減となります。この2つを相殺し、当初予算の収納率95%を掛けると国民健康保険税は約347万円の増となります。また、国と県の負担金と市からの繰入金が、約578万円の増となります。結果として今回の改正で、約926万円の歳入増となります。

●本会議での主な論点

賛成 今回の課税限度額の改正は地方税法施行令の改正

に伴うものである。医療費の増加が続く中、課税限度額を引き上げることで、国民健康保険運営のための財源確保につながると考える。また、国民健康保険税の2割・5割の軽減措置については、低所得者世帯への軽減を拡大し、低所得者世帯へ配慮したものであり、これらの改正については妥当であると考えます。

反対 課税限度額の引き上げや、保険料軽減対象となる所得基準の拡大が盛り込まれているが、国民健康保険制度は協会けんぽや市町村共済など、他の医療保険制度と比べて、非常に重い負担を強いられると考える。ひとり親家庭など最も支援を必要とする世帯が、他の制度よりも重い保険料を払わされていることから、本条例改正案に反対する。

その他の議案

●人権擁護委員の候補者の推薦 (第45号議案)

委員3人の任期が令和7年9月30日に満了すること

に伴い、内田桂子氏、山本佳樹氏及び森厚子氏の3人を委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、異議のない旨決しました。

●教育委員会委員の任命 (第46号議案)

委員渡辺充江氏の任期が令和7年6月30日に満了することに伴い、高橋民枝氏

を委員に任命することに同意しました。
●物品の購入（市立小中学校タブレット端末）
(第48号議案)

蒲郡市立小中学校における学習用タブレット端末を更新するために、購入するものです。購入物品は、タブレット端末及び附属品、購入数量は6199台、購

6月定例会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第2号)	行政事務管理事業費 放送受信料 150万6千円	4,235 万円	498億6,955 万円
	参議院議員通常選挙執行費 執行事務費 209万7千円		
	国民健康保険事業特別会計繰出金 578万9千円		
	一般管理費 福祉総合システム改修委託料 81万7千円		
	児童遊園地等施設管理費 用地購入費 1,885万8千円 不動産鑑定手数料 20万円		
	一般管理費 生活保護システム改修委託料 385万円		
	新規就農・農地集積支援事業費 新規就農者確保緊急円滑化 対策事業費補助金 903万3千円		
	学校諸活動支援事業費 児童生徒学習支援事業委託料 20万円		

議会日誌

3月22日から6月23日

4月

- 10日 議会運営委員会理事会
- 28日 議会運営委員会理事会

5月

- 1日 5月臨時会招集告示
- 7日 議会運営委員会
議員親睦会理事会
- 9日～12日 5月臨時会
- 12日 議員親睦会総会
正副委員長会議
議会運営委員会理事会
- 13日 文教委員会
- 14日 総務委員会
- 15日 経済委員会
- 29日 議会運営委員会理事会

6月

- 2日 6月定例会招集告示
議案説明会
- 5日 議会運営委員会
議会運営委員会理事会
- 11日～23日 6月定例会
- 23日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会

蒲郡市立小中学校における学習用ソフトウェアを取得するためのものです。取得財産は、学習用ソフトウェア

(第49号議案)

●財産の取得（市立小中学校学習用ソフトウェア）

入金額は3億4230万8780円、購入先は西日本電信電話株式会社です。その選定は、事業者の高度な知見を生かし、県内市町村に最適な共同調達となるよう、公募型プロポーザル方式で、選定された事業者と随意契約を締結するものです。

エア一式、取得数量は619ライセンス、契約金額は2億4167万円、契約先は、有限会社東京理科器です。なお、契約方法は、タブレット端末と異なり、各市町村の考え方により導入ソフトウェアが異なるため、共同調達ではなく、指名競争入札です。



賛否が分かれた議案・意見書案

○：賛成 ●：反対

議案・意見書案番号	会派・議員名 議案・意見書案名	自由民主党蒲郡市議団 ・無所属の会								蒲郡 自由クラブ				蒲郡 市政クラブ				公明党 蒲郡市議団		無会派	
		大場 康議	千賀 充能	芦刈 純奈	中野 香余	藤田 裕喜	鈴木 将浩	青山 義明	大須賀 林	八田 寿人	牧野 泰広	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	尾崎 広道	来本 健作	新実 祥悟	伊藤 享佑	竹内 滋泰	太田 哲也	松本 昌成	日恵野 佳代
43	国民健康保険税条例の一部改正	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
54	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
意見書案3	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
意見書案4	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
意見書案5	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
意見書案6	地方財政の拡充を求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
意見書案7	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
意見書案8	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	○
意見書案9	国の責任で教職員の未配置問題の改善を求める意見書	議長	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

※大場康議員は議長職により採決には参加していません。

委員会通信

3 常任委員会 所管事務概要説明を受ける

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月中旬に委員会を開き、所管事務の概要説明を受けました。

文教委員会は5月13日に管内視察を行い、学校給食センターや、今年度到新設された看護専門学校大学化準備室のあるソフィア看護専門学校を視察しました。また、蒲郡市民病院にて事業概要等の現地説明を受けた後、建物内を見学しました。



市民病院で説明を受ける文教委員

総務委員会は5月14日に管内視察を行い、消防本部にて、事業概要等の現地説明を受けた後、建物内を見学しました。

また、デジタル防災無線基地局を視察しました。



消防本部で説明を受ける総務委員

経済委員会は5月15日に管内視察を行い、三谷漁港より船で移動し、スマート牡蠣養殖の現場を視察し、その後、市道五井西郷橋詰1号線の建設現場を視察しました。

また、ボートレース蒲郡にて事業概要等の現地説明を受けた後、本年4月27日にオープンしたコミュニテ

イパークGrunnなど、施設の視察を行いました。



三谷漁港で説明を受ける経済委員

知柄漁港及び周辺エリア 整備基本構想の策定

6月17日に開かれた経済委員会において、知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想の策定について報告がありました。

昭和26年に漁港指定された知柄漁港は、古くから水産業の拠点となっています。しかしながら、現在使用している荷捌き施設や鮮魚マーケット（魚市場）の施設の老朽化や、駐車スペース・アクセス道路が狭いこと、近隣に鮮魚を食べられる飲食店もなく資源を有効に活かせていない等の課題

があります。

以上の背景から、地域の特徴や地域経済の活性化に向けた課題などを整理し、知柄漁港を核とした施設の再整備、未利用地の活用等の将来の目標像を示すことを目的として基本構想を策定しました。

基本構想の位置づけとして、第五次蒲郡市総合計画等の上位計画に基づき、本市における関連計画と連携し、対象エリア整備における基本的な方針を示すものとなります。また、対象エリアの整備等に向けた基本方針を「産業と交流の拠点エリアの形成」海業を取り入れた新たな水産業振興と地域資源を活かした体験交流の拠点エリアを目指して」と設定しました。



知柄漁港

9月定例会予定

9月市議会定例会は、9月4日(木)に開会する予定です。詳しい日程は、8月29日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続をしてください。

東三河広域連合議会

5月30日に東三河広域連合議会5月臨時会が豊橋市で開かれました。

議長に豊橋市の坂柳泰光議員、副議長に新城市の鈴木達雄議員が当選し、監査委員には、豊川市の早川喬俊議員他1名を選出しました。

また、常任委員会委員の選任等も行なわれました。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。ぜひご覧ください。

こちら編集委員会 66-1169

将棋の藤井聡太名人が蒲郡にお越しになりました。4月上旬に始まった、藤井聡太名人と永瀬拓矢九段の対局「第83期名人戦七番勝負」の第6局が西浦温泉の老舗旅館で開催される予定でしたが、名人戦は蒲郡対局前に藤井名人の勝利で終局し幻となってしまいました。

6月9日に予定されていた前夜祭は祝勝会に変更され蒲郡市のホテルでタイトル防衛と三連覇を祝って開催されました。それにあわせて、藤井名人は竹島や海辺の文学記念館、竹島水族館、名鉄電車、形原温泉あじさいの里など市内巡りを楽しまれるとともに、蒲郡市の特産品を堪能されるなど、二日間、蒲郡を満喫されました。

蒲郡対局にあわせ準備された蒲郡ならではの「勝負めし」「勝負スイーツ」「勝負ドリンク」は、どれも魅力的なもので、8月末まで各店舗で提供されておりますので、多くの皆さんに味わって欲しいと思います。

愛知県出身の藤井名人をこれからも応援しながら、またいつか蒲郡で対局されることを期待します。

実は蒲郡市は古くから名人戦をはじめ将棋のタイトル戦など90回以上開催され、多くの名勝負が繰り広げられてきた将棋の聖地でもあるのです。

〔議会だより編集委員会〕

◎牧野 泰広 ○鈴木 基夫 来本 健作
千賀 充能 鈴木 将浩 青山 義明
伊藤 享佑 (◎は委員長、○は副委員長)



私たちが編集委員です。

議会だよりをスマホへ配信します！

右のQRコードを読み込むか「マチイロ」で検索



無料です！

今月の表紙

海開き

蒲郡市内には三河大島東浜海水浴場と西浦温泉パームビーチの2か所の海水浴場があります。三河大島東浜海水浴場は、愛知県では唯一海水浴ができる無人島であり、蒲郡や渥美半島を眺めながらリゾート気分を満喫できます。西浦温泉パームビーチは平成11年に砂浜を整備し、西浦温泉海水浴場から現在の名前に改め、リニューアルしました。海水浴と温泉が楽しめる海水浴場となっております。夏だからこそ楽しめる海水浴をぜひ蒲郡でお楽しみください。

